

保健室紹介

山口県立宇部総合支援学校 美祢分教室



今回は、今年の4月1日に新たに開設された、山口県立宇部総合支援学校美祢分教室の保健室を訪問させていただきました。美祢分教室は美祢市大嶺町にあり、平成26年3月に閉校した旧桃木小学校の校舎を使用しています。学校全体から温かな空気がたっよい、自然いっぱい環境に囲まれて、子ども達はのびのびと過ごしているようでした。

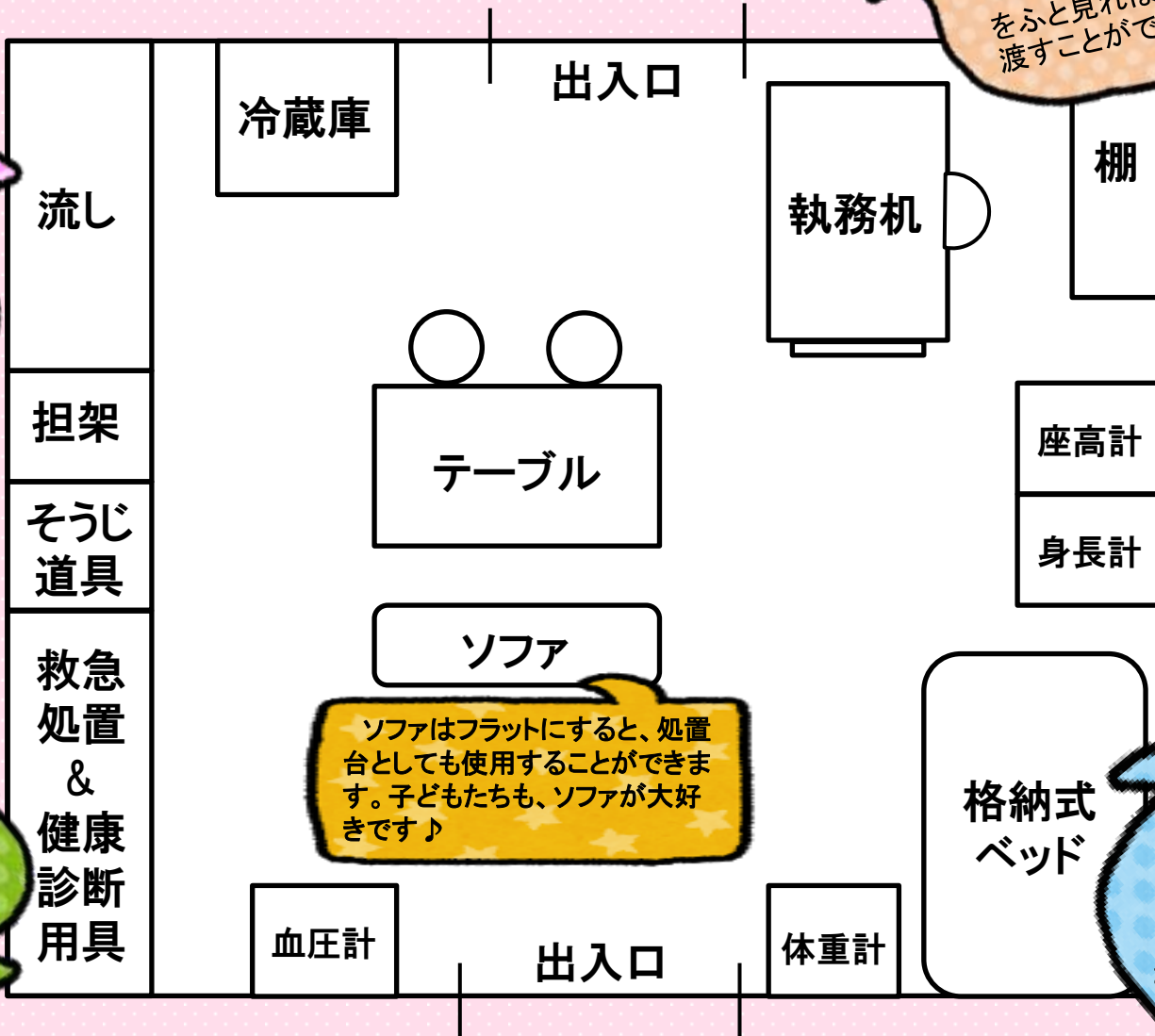
保健室にも明るい光がたっぷりふりそそぎ、養護教諭のK先生の笑顔に癒され、とても居心地の良い保健室でした。また、総合支援学校ならではの工夫もたくさんありました。「分教室って？保健室はどんな様子なんだろう？」と頭の中がハテナでいっぱいの私たちに、養護教諭のK先生は「本校舎とは、屋根のない長〜い廊下で繋がっているんだよ」等と分かりやすく教えてくださいました。そんな、山口県立宇部総合支援学校美祢分教室の保健室をご紹介します。



保健室レイアウト

この出入口から外に出ると、足洗い場があります。また、執務机で作業をしているときでも、窓の外をふと見ればグラウンド全体を見渡すことができます。

流しは、2つ分かつつけてあり、広さも十分です。給湯器を使用することにより、温水も出ます♪



ソファはフラットにすると、処置台としても使用することができます。子どもたちも、ソファが大好きです♪

救急処置用具や健康診断用具は、どれも整頓されていて、とても機能的でした。

格納式
ベッド

ベッドは格納式になっています。そのためベッドを格納して、保健室内のスペースを広く使うこともできます。普段は格納状態にされているそうです。

みんなにやさしい保健室づくりのために…

救急バッグは保健室に入っすぐ目につきやすいところに置いてあります！分かりやすく表示もされているため、緊急時には誰でも使用できます。また、健康診断や行事・授業等の関係で、保健室を離れる機会が多いため、ササッと持って出られる救急バックはととても便利です♪

体重計には、前面・側面に手すりが付いており、体のバランスがとりにくい子どもでも計測しやすい工夫がされています。また、立つところには足裏の写真を、前面には体重を計っている様子のイラストをラミネート加工した状態で貼り、子どもがイメージしやすいよう工夫しています！

養護教諭の在・不在表示や、保健室入り口の『立ち止まって』表示、冷蔵庫の『あけません』表示など、様々な表示が目で見えパッと分かるように工夫されました。『短い言葉で、分かりやすく、イラストは直感で分かるように…』と意識されているそうです♪



ここではご紹介しきれないほど、工夫いっぱいの保健室でした♪

掃除が行き届いた明るくキレイな食堂です！



職員数や分掌の関係から、給食の受け取り等は養護教諭が担当しています。

保健室外のことも 少しご紹介します★



各教室の表示は、文字だけではなく、イラスト付きになっていました。イラストはそれぞれの教室の特徴を表したものになっていて、目で見て、イメージとともに判断できる工夫がなされていました。ちなみに保健室は…♪

1階廊下には、開校記念に贈られた書が掲げられていました。

食堂や保健室前掲示板には様々な健康課題に対する掲示がなされていました。子どもの視点に立ち、見やすく分かりやすい掲示を目指されているそうです。

書家の金澤翔子さんの作品は、とても力強く印象的でした。

翔子
金澤翔子